

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0895500015		
法人名	有限会社さくらの里		
事業所名	グループホームさくらの里		
所在地	茨城県つくばみらい市福岡2997-1		
自己評価作成日	平成30年10月5日	評価結果市町村受理日	平成30年12月26日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2011_022_kani=true&JigyosyoCd=0895500015-00&PrefCd=08&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人認知症ケア研究所
所在地	茨城県水戸市酒門町字千束4637-2
訪問調査日	平成30年12年3月

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

その人の生活様式や習慣、そのらしさや尊厳を尊重し、穏やかな暮らしの中で健康や安全を考えた生活ができるよう力を入れている。
 食材の買い出しを毎日行うことで、季節の食材や新鮮な食材を仕入れることができる。また、施設の畑で野菜などを作り利用者と共に収穫する。収穫した野菜は一緒に調理し、みんなで食べることで野菜を育て食べることをたのしめ、食事を作り食べる楽しみを大切にしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

筑波山と小貝川をのぞめる広い施設の中で、利用者は穏やかな暮らしを営んでいる。利用者が培ってきた今までの生活の継続として、毎日、職員と一緒に食材の買い出しから、調理・配膳・下膳・食器洗い・拭きと一貫した取り組みを行い、食べる楽しみへと繋げている。庭で花や野菜を育て、季節を感じてもらう。地域交流としてデイサービスと合同で夏祭りを開催したり、認知症サポーター養成講座に講師として出向き、事業所・認知症に対する理解を得ている。職員は朝の挨拶の時に利用者の様子や表情から変化がないかを確認し、申し送り漏れが無いよう細心の注意を払い、統一した支援に努めている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員は理念を元に日々の業務に励んでいる。	地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を事務所・職員休憩室・各ユニットに掲示し、意識付けを図っている。管理者からも会議等で確認し、職員はその理念を共有して実践に繋げている。職員からは利用者らしさを大切にし、その時の気持ちに沿ったケアに努めているとの話が聞けた。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	毎月数回ボランティアさんに来ていただく。また、地元の祭りなどに参加し地域との交流や協力をいただいている。	毎月、ボランティア訪問(傾聴・カラオケ・フラ・大正琴・等)が数回あり、利用者は楽しいひと時を過ごしている。恒例行事であるデイサービスとの合同夏祭りでは林蔵太鼓の鼓動を体を感じたり、飲食を利用者・家族・地域住民と楽しんでいる。地元の盆踊りに大判焼きを買いに行った。認知症サポーター養成講座に講師として出向き、対象年齢に応じて寸劇や紙芝居を用いて、わかりやすく伝えている。相談は随時受付けており、アドバイスをしたり、関係機関に繋げている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症サポーターキャラバンメイトに参加し、認知症サポート講座の開催等、地域の方と交流を図り相談なども随時受け付けている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	現状、運営推進会議を満足に行えていない。	構成メンバーは家族・民生委員・行政・事業所担当者。利用者状況・事業予定・報告・運営状況の報告や話し合いを行っているが、現状は定期的な開催に至っていない。外部評価を通して第三者から意見を聞けることがサービス向上に繋がるつながっていると考えている。退所した家族や地域からも情報の提供がある。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	グループホーム連絡会やキャラバンメイトなどを通して、情報交換等を行っている。	関係担当課(社会福祉課・介護福祉課・地域包括支援センター・社協)と連絡を密にとり、協力関係を築いている。グループホーム連絡協議会に参加し情報交換をしている。中学生の体験学習やボランティアの介護支援活動を受け入れている。こども110番に登録した。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束マニュアルにのっとり、職員全員で身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	マニュアルを作成し、行動指針・行為・要件・同意書・解除に向けた取り組みの記録を整備した。拘束の弊害を周知し、拘束を行わないで利用者の安心・安全に向けて見守り支援を実施している。幹線道路沿いのため交通量も多いので、安全面を考慮し、家族に説明して同意をもらい施錠はしているが、外出傾向が見られた場合は一緒に出掛けている。職員同士、言動に注意している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員は虐待の防止に努め、日頃から利用者の身体チェックをしている。また、職員の言動などに注意しており、不適切な言動があったときはお互いに注意し合えるような体制をとっている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	まだまだ理解できていないので、権利擁護を学ぶ機会を作っていきたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際は読み合わせをしており、何か疑問や質問があったときはその都度聞いている。そのうえで、十分納得してもらってから契約を行なっている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族や利用者の要望や意見は随時受け付けている。また、苦情ボックスを設置し意見などを伺いサービスの向上に努めている。	意見箱の設置、第三者機関名・電話番号を明記しているが、今までそちらからの意見は無く、面会時に聞くようにしている。本音を言えない家族がいるかもしれないので、その把握方法としてアンケートを考慮中。時間的余裕が出来たら、広報発行も検討したいとの事。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日、カンファレンスを開いており、利用者の事のみならず、不便なことや言いたいことを言ってもらっているようにしている。	新規の利用が決まった場合は説明がある。毎日のカンファレンスや気づきはその都度話し合い、反映している。施設長・管理者・ケアマネは職員が大切と考え、職場環境の充実を図っている。レベルアップにむけた研修・資格取得を推奨している。食事会・忘年会を開催し親睦を深めている。個人面談を考慮中。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	少しずつ給与水準等上がりつつあるが、まだまだ把握できているとは言いがたく、各職員が向上心を持てるような環境を作りにくい。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修や資格を獲得するなどへの取り組みを推奨している。また、市内の研修会への参加を募っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	つくばみらい市グループホーム連絡会に参加しており、他の事業者との連携を図っている。また、同議会において研修などを計画しておりサービスの向上に努めている。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用に至るまでに本人とご家族を含めた話し合いをする機会を必ず作り、利用にあたっての方針・希望を受け止められるよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所後も随時ご本人とご家族に困りごとや要望等を聞いており、良い関係が築けるように勤めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	他のサービスも含めた支援ができるように、必ず介護支援専門員、管理者が相談に応じている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者と共に笑ったり、できることは一緒に行なったりできる生活をしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	参加行事などに限らず、いつでも歓迎できる雰囲気作りを心がけ、一定期間面会のないご家族に対しては電話で利用者の様子を話し、常に近い関係でいられるよう努めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者やご家族からの要望があったときは、ご家族に承諾を得て、馴染みの場所、人に会えるよう支援している。	電話や手紙・葉書・年賀状で遠方の親族や友人等の大切な馴染みの人との関係継続に努めている。家族と一緒に墓参り・美容院・定期健診後の食事・買い物・外出する利用者がある。利用者からの個人的な要望は家族の了解を得て実施している。食材買い出し時にお菓子の要望が出る時があり、おやつとして提供している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が同士の関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者間の関係を深める為に、職員がコミュニケーションを助けることを心がけている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所した方もいつでも立ち寄れるような雰囲気を作ることを心がけ、相談なども受けられるよう準備している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	実態調査や生活の様子を参考に、ご家族の意見や本人の意見を積極的に取り入れた支援ができるよう努めている。	利用者の気持ちを大切にし、毛染めやおしゃれの支援を実施している。介護度が高くなってきているが、力量に応じてゲーム・カラオケ・絵画・計算・家事(洗濯たたみ・食器洗い・拭き等)を行い、残存機能の低下防止に努めている。困難な場合は表情や様子から察知し、本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族の話や入居前の実態調査、本人の話を中心に利用者のサービス経過の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の生活の様子を元に、利用者一人一人の状態を観察し、有する能力の把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員はもちろん、ご家族とも情報を共有しそれぞれの意見やアイデアが反映されるような介護計画を作成している。	家族や利用者の思いを聞き、センター方式のアセスメントを実施して課題とケアのあり方について話し合い、意見やアイデアが反映されたケアプランを作成している。作成後は家族に説明し同意を得ている。担当者会議を開催し、毎日詳しく記入されたケース記録をもとに6か月毎にモニタリングを実施して見直し、現況に即したプランを作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護計画に沿ったケアの実践、気づきや工夫を毎日個別記録に記入し、情報を共有・介護計画の見直しに活かしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居者や家族の状況や要望に応じ、臨機応変に対応できる体制をとっている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員やボランティア、消防などと協力し、入居者や家族の意向などに応じられるようにしている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居者や家族の意向を優先し、意向に沿ったかかりつけ医の選定を行なっている。また、かかりつけの医院との連携も行なっている。	24時間連携の協力医療機関から2週間ごとの往診があり、症状・訴え・診察結果・処置を往診記録に残している。家族付き添い受診の場合は情報を提供し、結果を情報提供書・カンファレンス記録・ケース記録に残している。専門医・歯科往診は利用者の要望に合わせた支援を実施している。個人用の受診ノートに家族に連絡した内容を記録している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	協力病院の看護師と連携をとり、必要に応じた相談・健康管理を行なっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は介護サマリーを提供し、情報の共有を図っている。入院中も定期的に電話連絡や訪問することで入院中の状態を把握するよう努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に看取りに関する指針を説明し、入居者や家族の要望を聞きながら、医師や看護師と相談し、個々の要望を支援できるよう方針を共有している。	契約時に看取りに関する指針を説明し、延命措置等の意向確認を行い同意書を取り交わしているが、内容の変更は可能であり、状態に応じて、再度、施設長・管理者・ケアマネ・医師・家族で確認し個々の要望に添えるよう努めている。基本的に看取りは実施しないが、家族・利用者の要望でターミナルケアを行い、家族から感謝されたことが職員の励みとなっている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応マニュアルがあり、それに従い行動するよう努めているが、訓練などは行なっておらず職員の対応にばらつきがみられる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	緊急時対応マニュアルにより避難方法を明確にしており、消防と連携した消防計画を作成している。	前回の評価をうけ隣接コンビニと民生委員に協力を依頼しているが、明確な依頼内容の構築・夜間想定訓練は実施されていない。備蓄品・緊急持ち出し用品は整備している。	火災は出さないことと、初期消火の重要性を職員に伝えているが、オーナーがすぐ近くに在住とは言えども、夜間帯の不安を解消するために夜間想定訓練の実施と近隣に協力依頼内容の構築を図ることを期待する。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格の尊重とプライバシーの確保は施設の理念にもなっており、すべての職員が利用者の人格の尊重とプライバシーを損ねないよう留意している。	利用者を尊敬し、プライバシーの確保に努めている。声掛けはゆっくりと視線を合わせ、笑顔で対応している。関係書類の保管・情報開示に関する同意書を取り交わし、個人情報保護に努めている。面会簿は個人毎に記入している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員は、利用者が何をしたいのかを聞いたり、言いにくい人には提案したりしており、利用者が自分の意思に沿った生活が送れるよう支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	おおまかに一日の流れはあるが、利用者の希望やペースに合わせて臨機応変に対応している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	好きな服を着たり、髪を染めたりなどの希望に対応し、その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立を決める際は各利用者の意見を取り入れるよう心がけている。また、食事の準備や片付けも一緒に行い、家庭的で楽しい雰囲気作りを心がけている。	利用者と相談し希望を取り入れた献立を作成。買い出し・下準備・味見・配膳・下膳・食器洗い・拭き等、一緒に行う。季節の食材・野菜の収穫で季節を感じてもらう。職員も同じテーブルを囲み、和気藹々の食事風景であった。状況に応じた食事形態や食事制限に配慮し、食べることが楽しくなるように、持ちやすい個人用の茶碗・お箸・湯呑を使用している。これからは年越しそば・おせちが提供される。ケーキで誕生日をお祝いしている。家族と外食に出かける利用者がある。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスが傾かないよう、提携医師の指示のもと一人ひとりの状態や習慣に応じた食事を提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔内の清潔保持の為に毎食毎に歯磨き、うがいを声かけや誘導、介助とそれぞれの力に応じた対応を行なっている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	入居者それぞれの排泄パターンを把握し、状態に合わせた排泄の誘導を行なうことで、オムツの使用をできるだけ減らせるよう支援している。	排泄チェック表・パターン・表情・様子・時間ごとに声掛けを行い、トイレに誘導しトイレでの排泄や排泄の自立に向けた取り組みを行い、おむつ対応の利用者でも昼間はトイレに誘導しているので失敗が少なくなった。バルーン装用者は3日毎に医師に取り替えてもらう。医師の指導を受け、食事の配慮や運動で自然排便に取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の原因や影響について医師から指導を受け、食事への配慮や運動などに活かせるよう取り組んでいる。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	時間帯が決まってしまうが、入居者の希望があればその時間に入浴できるように配慮している。	入浴は日曜日以外の午後からで、週3回以上の入浴支援を実施している。陰部洗浄をしている利用者がいる。拒否者には無理強いせず、ケースバイケースで対応している。季節のゆず湯・しょうぶ湯・入浴剤でリラックスできる時間を提供している。皮膚感染防止のため足ふきマットの上に個人用タオルを敷いている。着替えの準備は職員と一緒にやっている。巻き爪は医師に切ってもらっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居前の生活習慣を把握し、その人の希望やペースに合わせた休息や睡眠がとれるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤情報所を入居者ごとにファイルにまとめ、いつでも服薬情報のチェックができるようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人や家族の話や希望を聞くことにより、その人の個性を尊重し、楽しみや気晴らしができるよう支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	買い物、散歩、遠足等ホームの外に出る機会を設けており、入居者の体調や天候に考慮した上で外出の機会を作っている。	介護度が高くなり外出機会も少なくなってきたが、食材の買い出し・散歩・イベント外出・庭の野菜の手入れ等で太陽の日差しを浴び、風を肌感じてもらい五感の刺激を受け、季節の移り変わりに気づく利用者も多い。ボランティアと一緒に弁当持参でお花見に出かける時もある。家族と一緒に外食・外出・通院に出掛けている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居者や家族の希望に合わせ、本人の力に応じたお金の所持、使用ができるよう支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者や家族の希望に沿い、電話や手紙のやり取りができるよう支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間には季節感が感じられるものやカレンダー、花などを飾り、不快な音や光がなく居心地が良いよう配慮している。	共有空間は季節の飾り物や花を飾り、見当識への配慮が見られた。リビングには懐かしいセルロイドの人形や日本人形を飾っている。24時間空調管理で空気や匂いがこもらないようにしている。掃除は朝・昼2回行き、清潔保持に努めている。ソファでのんびり過ごす利用者もいる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	それぞれの席のほかにソファを設置し、思い思い過ごせるよう配慮している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内は自由に使うことで、入居者それぞれの使い慣れたものや好みのものを使ってもらって、居心地良く過ごせるよう配慮している。	居室入り口に名前を掲示し、混乱防止に努めている。家で使用していたサイドボード・テレビ・椅子・鏡台・仏壇(ご飯とお水を供える)・洋服掛け等を安全面に配慮し設置している。お孫さんの結婚式の写真・家族の写真・ぬいぐるみ等利用者のお気に入り物を飾り、居心地よく過ごせる居室となっている。衣替えは職員と一緒にいき、四季を意識する機会となっている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自立した生活ができるよう、居室に名札をつけたり、手すりを設けたりするなど、使いやすさや安全面を重視した環境作りに勤めている。		

(別紙4(2))

事業所名: グループホームさくらの里

目標達成計画

作成日: 平成 30 年 12 月 26 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	夜間想定避難訓練が行えていない。その為、夜間の災害時の対策について不安がある。	31年度中に夜間を想定した避難訓練を実施する。	避難訓練の年間予定を立て、夜間想定避難訓練を計画する。	10ヶ月
2	10	利用者やその家族が本音で意見や苦情を言えているのか分からない。	意見箱の設置や訪問時に苦情や意見がないか聞いてはいるが、本音を言えない家族がいる可能性があることを考え、匿名のアンケート実施を検討する	職員で話し合い、具体的なアンケートの内容を精査し、実施できるよう取り組む。	12ヶ月
3	10	苦情担当者と解決責任者を設け、役割を明確にしてはどうかと意見があった。	苦情受付、苦情担当者、解決責任者、第三者機関と役割を明確に分け、利用者やその家族が忌憚のない意見を言えるような環境作りをする。	苦情受付の役割を分け、担当者、解決責任者をそれぞれ設けた。	1ヶ月
4	4	運営推進会議の定期的な開催ができていない	最低でも年2回の開催ができるよう年間予定を組む。	31年2月に開催予定。その後は31年度の年間予定を作成する。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。